

発行 六会地区防災リーダー連絡会
事務局 六会市民センター 地域担当
TEL 81-6677
編集担当自治会
湘風台 六会駅前高層住宅 不動ヶ丘
卸売団地 大山

六会地区 防災リーダーニュース

天神公園にて 100トン水槽操作訓練が実施されました

7月29日（水）に、100トン水槽操作訓練が行われました。
100トン水槽は市内14ヶ所に設置されています。六会地区では天神公園内に設置されていて、災害時には11,000人の飲み水を3日間確保できます。当日は「藤沢市管工事業協同組合」の方々にご指導いただき“手動ポンプ”“エンジンポンプ”の操作方法、給水管の接続方法等を体験しました。



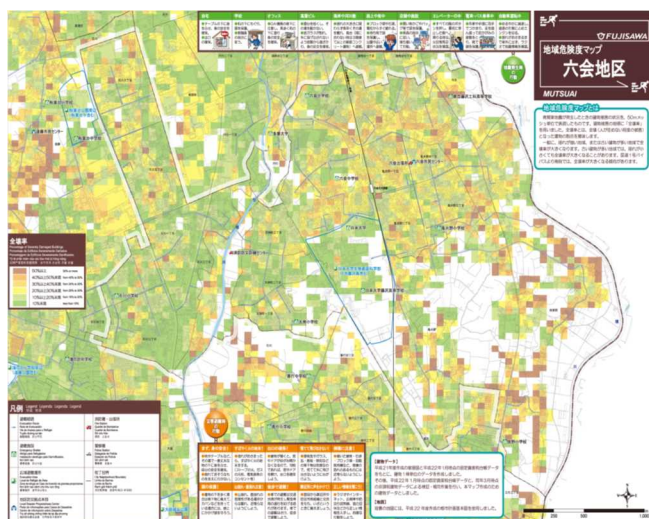
ハザードマップは見ていますか？

「“ハザードマップ”という言葉は聞いたことがあるけど実際に見たことがない」
そういう方は少なくないと思います。

ハザードマップには「揺れやすさ・液状化危険度マップ」「危険地域度マップ」「津波ハザードマップ」「津波浸水想定図」「洪水・浸水想定区域図」「土砂災害・洪水ハザードマップ」があります。

記憶に新しい7月の九州での豪雨災害では危険箇所付近での被害が多数発生しており、改めてハザードマップ等の情報の重要性が示されたといえる出来事だったのかもしれません。

来る台風の時期に備えて、この機会にご自身の地区のハザードマップを確認してみましょう！
ハザードマップは藤沢市ホームページから見る事が出来ます。



六会地区 地震危険度マップ

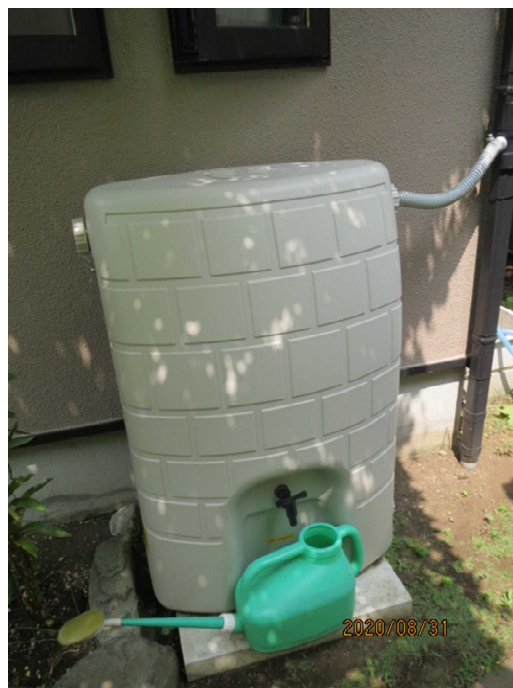
「雨水貯留槽」を設置してみました（不動ヶ丘の方より）

災害が発生した場合、すぐに困るのが「電気・ガス・水道・通信」等の生活インフラのストップです。電気はソーラー発電・発電機、ガスはカセットボンベ等の代替え燃料等、ある程度の備蓄が可能ですが、一番困るのが断水でトイレが使えないという問題ではないでしょうか。飲料水はミネラルウォーターの備蓄が出来ますが生活用水はバスタブに水を溜めるくらいしか考えられません。そこで着目したのが「雨水貯留槽の設置」です。

降った雨は雨どいを通して下水に流れますが、雨どいの途中に分岐パイプを設置し、雨水タンクに雨水をためる構造です。もちろん飲料にはなりません。バケツでトイレタンクに入れば十分に水洗トイレが使えます。「非常用」に設置しましたが日常は植物の灌水に利用し、水道の節水にも貢献しています。

藤沢市では「購入費補助金制度」があり、15,000 円を限度に補助が受けられます。

詳細は藤沢市のホームページか藤沢市役所 環境総務課（内線 3 3 1 1）で教えてもらえます。



緊急地震速報を今一度振り返ってみよう！

最近、地震の揺れを感じる前に、携帯にメールが一斉に発信されることがありますね。気象庁の情報では、震度 4 以上が予想される地域に主として発表されることになっています。現在では、全国約 690 箇所の気象庁の地震計、震度計に加え全国約 1,000 箇所の地震観測網のデータを活用することにより、地震発生を素早くとらえているそうです。

〈緊急地震速報のながれ〉



地震により速いスピードの P 波と揺れの強い S 波が発生します。この P 波を捉え遅れてくる S 波が来る前に警報を発信します。

7月30日には誤報が発信されましたが、未だシステムは完全ではありません。誤報も訓練だと思い、あの時自分は危険回避の行動がとれていたか、思い出

してみましょう。

六会地区 総合防災訓練は中止になりました

11/1(日)に予定されていましたが総合防災訓練はコロナ禍の影響により中止になりました。